

平成16年度 秋期 プロジェクトマネージャ 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問1

設問1

- (1) 進捗のばん回状況を監視し必要な対策を実施させる、進捗の回復計画を具体的に立てさせる、又は若手社員を指導するなどの具体的な対策をとることについて、適切に記述していること。
- (2) ドキュメントの違いについて承認を得ていなかったこと、又はドキュメント管理標準と違うフォームを使うことをE社に確認していなかったことについて、適切に記述していること。

設問2 請負契約なのに成果物の随時の引渡しを求めたり、契約相手会社の社員に対して直接指示すること、及び直接の契約関係にない会社に対して成果物の引渡しを求めたり、社員に対して直接指示するなど、契約上の理由について、適切に記述していること。

設問3

- (1) システム開発の方法や記述内容を均一にすることによって、システム完成後の運用保守を効率良く行えるようにすることについて、適切に記述していること。
- (2) ドキュメント管理標準を適用すべき対象を明示すること、及びドキュメント管理標準の内容を適正に定期的に見直すことについて、適切に記述していること。

問2

設問1 接続仕様書は外部設計書との整合性をとること、又は外部設計書の修正に対応して接続仕様書を修正することなどについて、適切に記述していること。

設問2 開発要員増加に対する開発環境の共用リソースの増強などについて、適切に記述していること。

設問3

- (1) リスク 総合テストを継続してもソフトウェア納入時点で品質を確保できないなど、納入遅延を引き起こすリスクについて、適切に記述していること。
方法 品質を確保できない場合、機能制限付きで納入して並行して不良を修正するなど、リスクの現実化による影響を少なくして、運用テストを計画した期日から開始するためにとりうる方法について、適切に記述していること。
- (2) リスク 総合テストを中断しても、設計の見直しと不良の修正作業が予定どおりに2週間で完了しないなどのリスクについて、適切に記述していること。
進め方 優先度の高い不良から修正し、順次総合テストに提供するなど、総合テストを計画した期日から再開するための見直しと修正作業の進め方について、適切に記述していること。

設問4

- (1) 外部設計へのK社の参加を要請するなど、P社のスキル不足を補うための対応について、適切に記述していること。
- (2) 開発規模にあらかじめ上限を設けて要件を削減するなど、稼働遅延のリスクを回避するための対応について、適切に記述していること。

問3

設問1

- (1) 改善要望への対応時期を来年の4月以降とするなど、新情報系のリリース後に対応を行うことについて、適切に記述していること。
- (2) 4月に内部設計に着手できない、3月に外部設計が終了できないなど、スケジュールどおりに開発が行えなくなるリスクについて、適切に記述していること。
- (3) 新情報系のインタフェースなどに影響しないことを情報システム部以外の関係者が確認することについて、適切に記述していること。

設問2

- (1) 障害が発生した箇所の現情報系の仕様を参照して新情報系に組み込んでいる場合など、新情報系でも対応が必要になる場合について、具体的かつ適切に記述していること。
- (2) 長所 まとめてテストを行うことで効率良く修正とテストが行えるなど、まとめて対応することによる長所について、適切に記述していること。
短所 作業が集中し、修正規模が大きいと対応が遅れる場合があるなど、まとめて対応することによる短所について、適切に記述していること。

設問3

- (1) 視点 業務部又は利用部門など、利用する立場からの視点について、適切に記述していること。
確認の内容 操作性又は使用の可否など、総合テストで十分な確認が行えなかった内容について、適切に記述していること。
- (2) プロトタイプング手法など、システム開発の初期段階で、利用者が外部仕様の確認や問題点の検出を行うことによって開発の手戻りを少なくする開発手法について、適切に記述していること。

問4

設問1

- (1) 互いの問題点や技術の共有を図るため、設計書などの成果物を利用するため、又は工程遅延などの開発リスクを低減するためなど、理由を具体的かつ適切に記述していること。
- (2) 延期すべき月数 1か月
理由 PDA 内部結合テスト開始が遅れること、又はPDA・サーバ間結合テスト開始が遅れることについて、適切に記述していること。

- (3) 多数の PDA を利用せずに効率良く負荷テストが行えること、又は運用時のピーク負荷を想定したテストが事前に行えることなど、シミュレータの利点について、適切に記述していること。

設問 2

- (1) 外部設計工程 総合テスト
サーバ間インタフェース設計工程 サーバ間結合テスト
- (2) 外部設計から総合テストまでを一貫して責任をもってほしいため、又は作業責任を明確にする
とともに開発コスト増を避けたいためなど、理由を適切に記述していること。

設問 3

- (1) PDA 開発要員の平準化、又は開発要員を効率良く利用できることなど、開発要員というリソース
の効率化について、適切に記述していること。
- (2) 時期 8 月中旬
理由 PDA・サーバ間結合テストにおけるバグ改修をすべて吸収し総合テストを実施できる
ため、又は手戻りを最小にとどめ対応工数を圧縮するためなど、理由を適切に記述し
ていること。
- (3) 営業部員がシステムに早く慣れること、又は本格サービス開始前に営業部員をトレーニングす
ることなどについて、適切に記述していること。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。